

上越魚沼地域振興快速道路

地域間の時間短縮化



2 信頼性の確保

高速道路の代替ルート

新潟県中越地震では関越自動車道が通行止めとなったことにより、迂回路となる高速道路・国道の交通量が増加しました。上越魚沼地域振興快速道路の整備により、高速道路ネットワークにおける迂回路ルートの確保が可能となります。



3 地域開発の支援

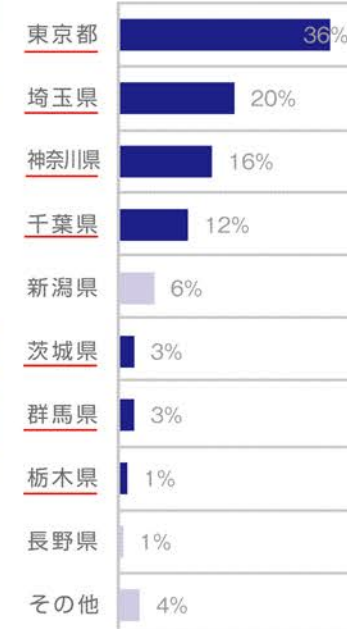
周遊ルート

上越魚沼地域振興快速道路の整備により関越、上信越自動車道を結ぶ周遊ルートを形成します。ルート上にはスキー場・温泉地の他、多くの観光施設・文化施設が点在します。また、四季折々のイベントも楽しめます。十日町地域で開催される世界最大級の国際芸術祭「大地の芸術祭」や「十日町雪まつり」、南魚沼地域の観光地には多くの観光客が来場しています。周遊ルートの形成により首都圏から当該地域へのさらなる観光客の誘致が期待されます。



居住都道府県別 延べ宿泊者数の割合

十日町市・南魚沼市、津南町 宿泊者の約9割が関東方面から来訪!



【大地の芸術祭の来場者数推移】

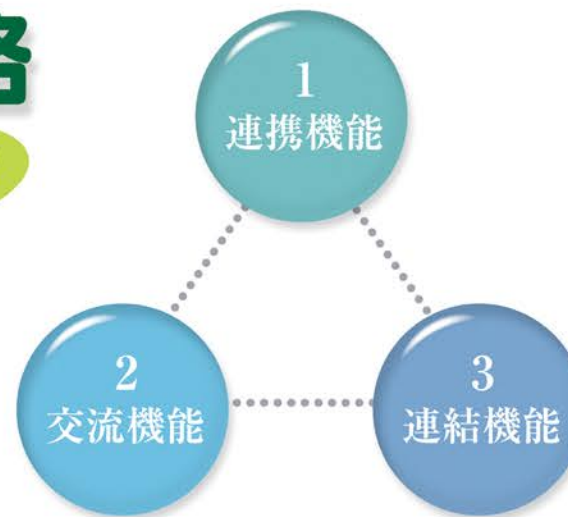
(十日町市・津南町で3年に1回開催)



出典: RESAS観光マップ (経済産業省 観光予報プラットフォーム) 延べ宿泊者総数: 1,523,939人 (2015)

地域高規格道路 ってなに? What's?

地域高規格道路は、地方の拠点都市を中心とした広域的な地域連携を強化するため、高規格幹線道路(高速道路)と一体となって地域構造を強化する道路であり、**交流・連携・連結**の機能のいずれかの機能を持っています。



地域高規格道路の3つの機能

- 1 通勤圏の拡大や都市と農村との連携強化等による地域集積圏の拡大を図る環状・放射状道路。
- 2 高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促し、地域集積圏間の交流を図る道路。
- 3 空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点等との連絡道路。

八箇峠道路の事業経緯

年度	主な経緯
平成6年度	上越魚沼地域振興快速道路(約60km)計画路線指定
平成8年度	十日町市~六日町(現南魚沼市)間(約13km)調査区間指定
平成9年度	八箇峠道路(約10km)整備区間指定
平成12年度	事業化・工事着手
平成13年度	用地着手
平成17年度	道路計画見直し
平成19年度	八箇峠トンネル南魚沼市側工事着手
平成22年度	八箇峠トンネル十日町市側工事着手
平成29年度	八箇IC~野田IC間(延長6.6km)部分開通



ふるりのめくもり伝える道づくり
国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所
〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1
TEL.0258-36-4551(代) FAX.0258-33-7566
[ホームページアドレス] <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>
[E-mail] chokoku@hrr.mlit.go.jp [携帯サイト] <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/>



H29.11作成

上越魚沼地域振興快速道路 国道253号

八箇峠道路



八箇峠トンネル南魚沼市側坑口から南魚沼市街地方面を望む

魚沼の活力ある地域づくりを支援します。

人と人との暮らしを支え、繋げる

上越魚沼地域振興快速道路の役割と概要

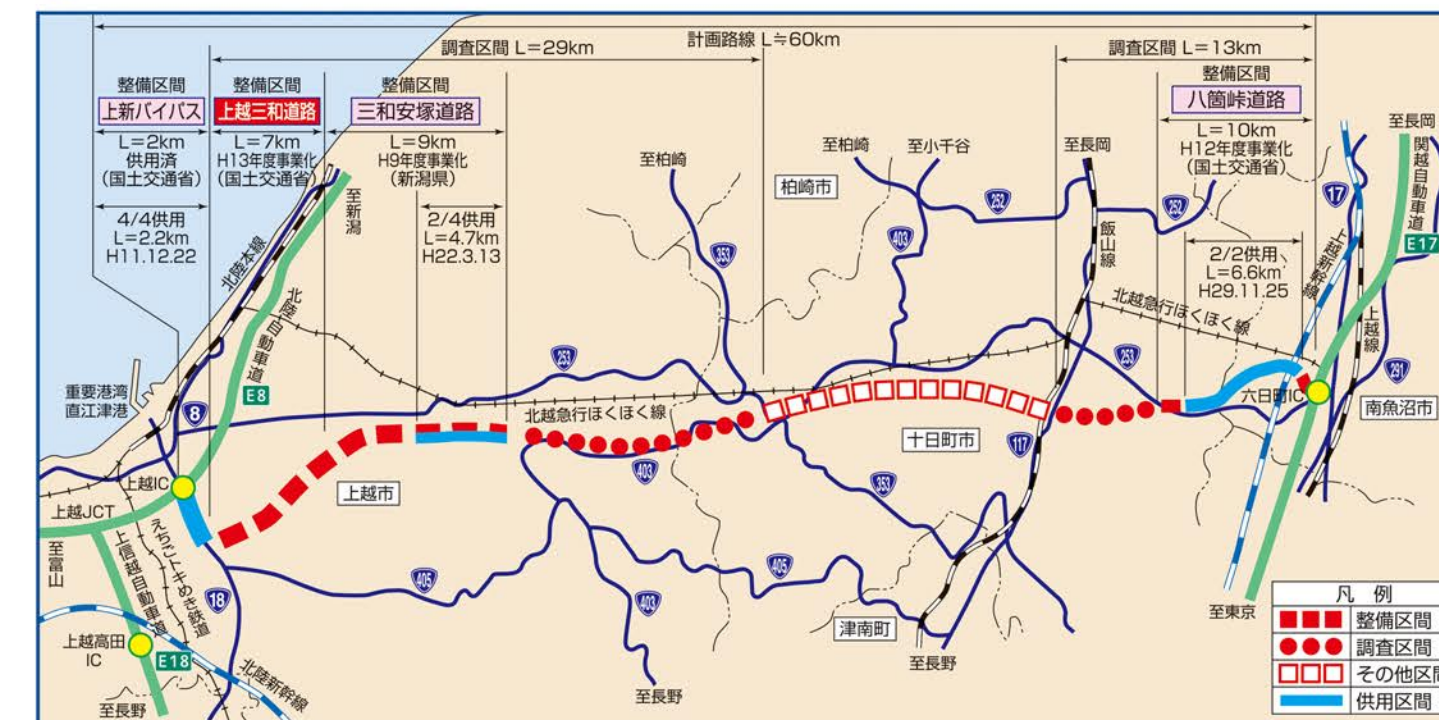
上越魚沼地域振興快速道路は、新潟県上越市を起点とし同県南魚沼市に至る延長約60kmの地域高規格道路で、上越地域・十日町地域及び南魚沼地域の中心都市を相互に連結し、地域間の連携を強化する道路です。また、起点に位置する北陸自動車道、上信越自動車道及び重要港湾・直江津港と、終点に位置する関越自動車道を地域高規格道路で連結することにより、交通圏の拡大を図ります。



上越魚沼地域振興快速道路3つの役割

- 1 広域交通ネットワークの形成
- 2 信頼性の確保
- 3 地域開発の支援

1 広域交通ネットワークの形成

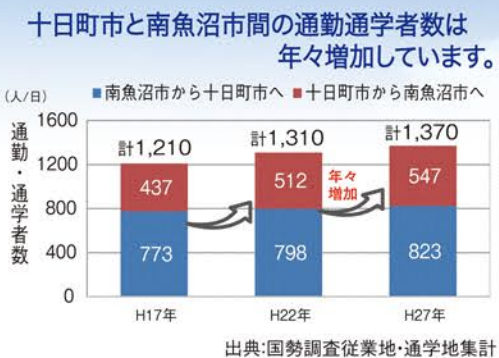


国土交通省北陸地方整備局 長岡国道事務所

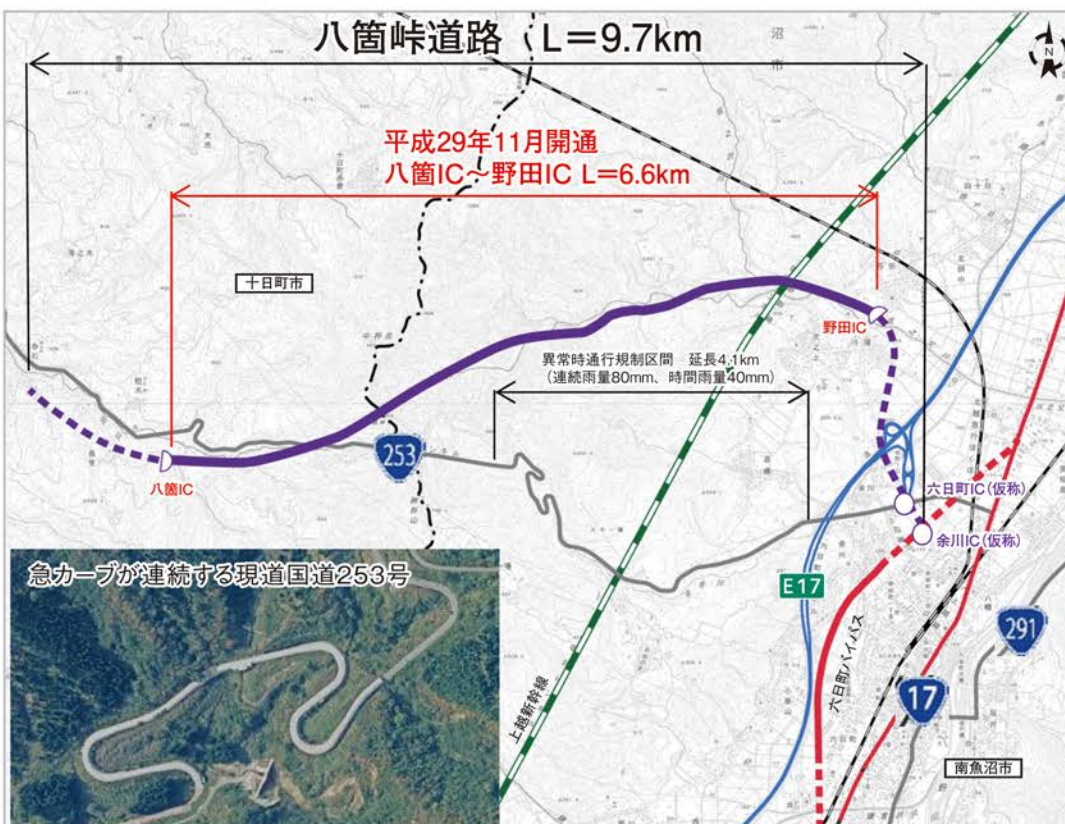
現況の国道253号と八箇峠道路

十日町市八箇・南魚沼市余川地域の課題

国道253号は十日町地域と南魚沼地域の中心を結ぶ主要幹線道路です。しかし、急峻な地形で線形不良箇所が多く連続雨量80mmで通行止めとなる区間や、急勾配区間（縦断勾配8%以上）が2.4kmもあり、積雪地域による交通障害が発生し易くなっています。特に、平成17年6月の豪雨、平成23年7月の新潟・福島豪雨では長時間に及び全面通行止めが発生してしまうなど災害に弱く、通行止めのたびに大幅な迂回をしなければならず物流支援、観光客のアクセスなど地域経済に影響を及ぼしています。また、通勤・通学等、日常生活へも支障をきたしています。



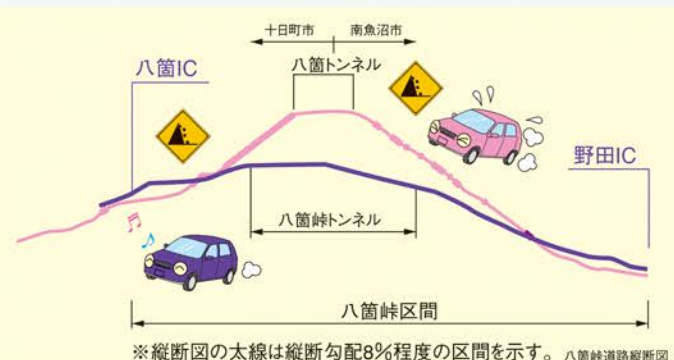
通行止め 経済活動、日常生活への支障 抜本的対策が急務



八箇峠道路が出来ると

安全性・信頼性の確保

八箇峠道路の整備により、交通の難所である「八箇峠」の交通障害が解消されます。



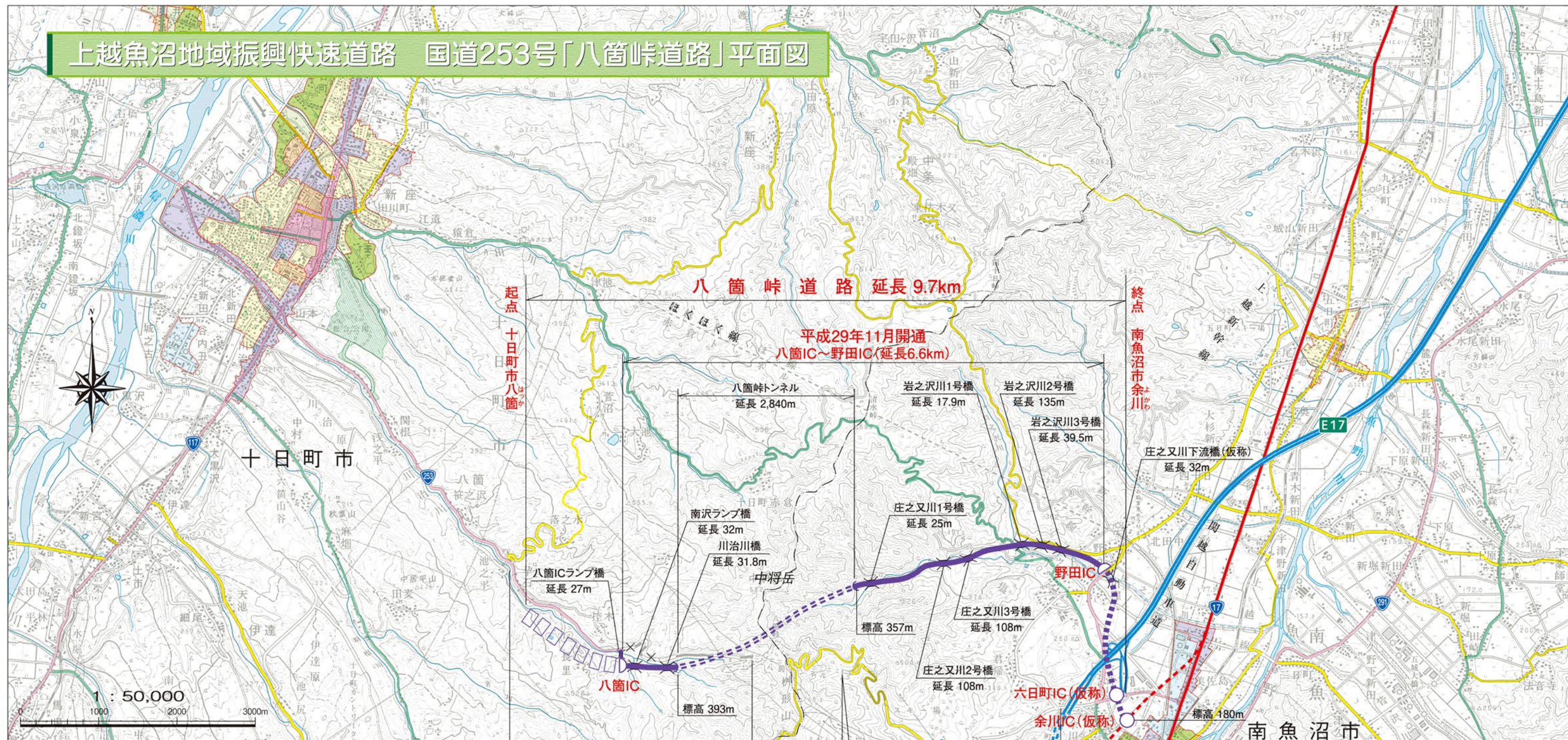
八箇峠道路は、十日町市と南魚沼市の日常生活活動を支える重要な路線となります。



八箇峠道路の整備により、冬期幅員の確保が容易となり、安全性・信頼性が確保されます。



上越魚沼地域振興快速道路 国道253号「八箇峠道路」平面図



八箇峠道路の概要

八箇峠は、地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」延長約60kmのうち、終点側の十日町市八箇～南魚沼市余川間の延長9.7kmの道路です。

八箇峠道路の整備により国道253号の通行規制区間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害を解消すると共に、十日町生活圏・南魚沼生活圏の地域活性化の促進・一体的な圏域形成が期待されます。

救急救命活動を支援

第三次医療施設「魚沼基幹病院」は、魚沼二次医療圏の救命救急センターとして、平成27年6月に開院しました。現国道253号は、急カーブの連続による大きな横揺れや路面の凹凸等で搬送者に負担が懸からないよう細心の注意を払っての救急搬送が必要となっています。八箇峠道路の開通により、カーブが少ない道路を利用できるようになるため、冬期間も含めた搬送環境の向上が期待でき、安全で安心な地域づくりに貢献します。



環境に配慮しながら工事を進めています

動物への対策例

道路の存在により、地域に生息する動物の移動経路を分断したり、道路に侵入した動物が交通事故にあたりやすくなります。移動経路の確保に最も効果があるのは、橋梁もしくはカルバート(暗渠(あんきょ))とされています。八箇峠道路事業でも、移動経路になる場所は、極力橋梁形式を採用するとともに、カモシカなどの大型動物の移動やクロサンショウウオの産卵場への移動のために、道路の下にカルバートを設置しています。

